

自然災害情報室コラム

自然災害情報室では、自然災害が記録された資料の収集、整理・保存、解析、提供・発信をおこなっています。今回は収集している資料の中でも、特に力を入れている「防災教育コレクション」を紹介します。「防災教育コレクション」が対象とする

資料は高校生以下、一般向けを対象とした災害・防災に関するものです。絵本やジュニア文庫、マンガなどの書籍に限らず、紙芝居、かるたやボードゲームも含まれます。約2,400点を揃えており、国内随一のコレクション数と自負しています。

今回のテーマ **「収集」** 防災教育コレクション以外には災害時空中写真、ハザードマップコレクションなどがあります。

コレクション紹介



避難所用畳の上に乗った「防災安全ジャンボかるた」「プレートテクトニクストラップ」



「稲むらの火」1854年安政南海地震の津波避難を描いたもの。写真の紙芝居は昭和17年(1942年)に発行されたものの複製版。



子ども閲覧室の様子



コレクション閲覧の様子

防災教育コレクションは、一般公開やちびっこ博士など、展示や参加型イベントで来室いただいた方にもご好評いただいています。

コレクションは、一言で災害・防災に関係する本と言っても内容は様々です。地震や台風、火山噴火などの自然現象を扱う本、災害のミニチュアを使った実験・体験するための本、災害から身を守るためのマニュアルや教訓の本、災害の歴史の本、防災に関わる仕事を紹介する本、被害に遭われた方々を想い悼む本、冒険活劇のように乗り越えるべき障害として災害との遭遇が書かれた本など、

絵本からマニュアル、小説や漫画まで多岐にわたります。写真でも紹介した「稲むらの火」は、実際の出来事をベースに小泉八雲によって執筆された津波の教訓の話です。英語、タイ語、ネパール語、シンハラ語、ヒンディ語などスマトラ島沖地震で甚大な被害を受けた国々の言葉をはじめ、様々な言語に翻訳されています。防災教育コレクションでは、このような海外の資料も扱っています。

防災教育コレクションは、リストをwebサイトで公開しています。

日本で暮らす私たちは、自然災害を避けては通れません。絵本や紙芝居、かるたなど親しみやすく、分かりやすく工夫された資料は、世代を問わず自然災害への興味への入り口として働きます。こういった資料を通して、普段から災害への関心を持っていただき、自ら対策を行える人を増やすことで、災害に強い社会への貢献ができると考えています。当室の資料は、来室してのご利用や図書館を通じた貸し出しが主体ですが、このコレクションについては団体向けの貸し出しを行っています。ご要望に応じて、資料を選出いたします。過去には小学校や児童クラブ、大学の研究者などにご利用いただきました。是非、お気軽にお問い合わせください。



連絡先 library@bosai.go.jp



「稲むらの火」

左: バングラデシュ版(ベンガル語)

右: フィリピン版(タガログ語)

出典: アジア防災センター

防災教育コレクションについての詳細はこちらから御覧いただけます。
<https://dil-opac.bosai.go.jp/documents/education/index.html>

